浄土真宗の教章（私の歩む道）

宗名　浄土真宗

宗祖（ご開山）　親鸞聖人
ご誕生　一一七三年五月二十一日
（承安三年四月一日）
ご往生　一二六三年一月十六日
（弘長二年十一月二十八日）

宗派　浄土真宗本願寺派

本山　龍谷山 本願寺（西本願寺）

本尊　阿弥陀如来（南無阿弥陀仏）

聖典
・釈迦如来が説かれた「浄土三部経」
『仏説無量寿経』『仏説観無量寿経』
『仏説阿弥陀経』
・宗祖　親鸞聖人が著述された主な聖教
『正信念仏偈』（『教行信証』行巻末の偈文）
『浄土和讃』『高僧和讃』『正像末和讃』
・中興の祖　蓮如上人のお手紙
『御文章』

教義　阿弥陀如来の本願力によって信心をめぐまれ、念仏を申す人生を歩み、この世の縁が尽きるとき浄土に生まれて仏となり、迷いの世に還って人々を教化する。

生活　親鸞聖人の教えにみちびかれて、阿弥陀如来の　み心を聞き、念仏を称えつつ、つねにわが身をふりかえり、慚愧と歓喜のうちに、現世祈祷などにたよることなく、御恩報謝の生活を送る。

宗門　この宗門は、親鸞聖人の教えを仰ぎ、念仏を申す人々の集う同朋教団であり、人々に阿弥陀如来の智慧と慈悲を伝える教団である。それによって、自他ともに心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する。

浄土真宗の教章（私の歩む道）

宗名　浄土真宗

宗祖（ご開山）　親鸞聖人
ご誕生　一一七三年五月二十一日
（承安三年四月一日）
ご往生　一二六三年一月十六日
（弘長二年十一月二十八日）

宗派　浄土真宗本願寺派

本山　龍谷山 本願寺（西本願寺）

本尊　阿弥陀如来（南無阿弥陀仏）

聖典
・釈迦如来が説かれた「浄土三部経」
『仏説無量寿経』『仏説観無量寿経』
『仏説阿弥陀経』
・宗祖　親鸞聖人が著述された主な聖教
『正信念仏偈』（『教行信証』行巻末の偈文）
『浄土和讃』『高僧和讃』『正像末和讃』
・中興の祖　蓮如上人のお手紙
『御文章』

教義　阿弥陀如来の本願力によって信心をめぐまれ、念仏を申す人生を歩み、この世の縁が尽きるとき浄土に生まれて仏となり、迷いの世に還って人々を教化する。

生活　親鸞聖人の教えにみちびかれて、阿弥陀如来の　み心を聞き、念仏を称えつつ、つねにわが身をふりかえり、慚愧と歓喜のうちに、現世祈祷などにたよることなく、御恩報謝の生活を送る。

宗門　この宗門は、親鸞聖人の教えを仰ぎ、念仏を申す人々の集う同朋教団であり、人々に阿弥陀如来の智慧と慈悲を伝える教団である。それによって、自他ともに心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する。

浄土真宗の教章（私の歩む道）

宗名　浄土真宗

宗祖（ご開山）　親鸞聖人
ご誕生　一一七三年五月二十一日
（承安三年四月一日）
ご往生　一二六三年一月十六日
（弘長二年十一月二十八日）

宗派　浄土真宗本願寺派

本山　龍谷山 本願寺（西本願寺）

本尊　阿弥陀如来（南無阿弥陀仏）

聖典
・釈迦如来が説かれた「浄土三部経」
『仏説無量寿経』『仏説観無量寿経』
『仏説阿弥陀経』
・宗祖　親鸞聖人が著述された主な聖教
『正信念仏偈』（『教行信証』行巻末の偈文）
『浄土和讃』『高僧和讃』『正像末和讃』
・中興の祖　蓮如上人のお手紙
『御文章』

教義　阿弥陀如来の本願力によって信心をめぐまれ、念仏を申す人生を歩み、この世の縁が尽きるとき浄土に生まれて仏となり、迷いの世に還って人々を教化する。

生活　親鸞聖人の教えにみちびかれて、阿弥陀如来の　み心を聞き、念仏を称えつつ、つねにわが身をふりかえり、慚愧と歓喜のうちに、現世祈祷などにたよることなく、御恩報謝の生活を送る。

宗門　この宗門は、親鸞聖人の教えを仰ぎ、念仏を申す人々の集う同朋教団であり、人々に阿弥陀如来の智慧と慈悲を伝える教団である。それによって、自他ともに心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する。

浄土真宗の教章（私の歩む道）

宗名　浄土真宗

宗祖（ご開山）　親鸞聖人
ご誕生　一一七三年五月二十一日
（承安三年四月一日）
ご往生　一二六三年一月十六日
（弘長二年十一月二十八日）

宗派　浄土真宗本願寺派

本山　龍谷山 本願寺（西本願寺）

本尊　阿弥陀如来（南無阿弥陀仏）

聖典
・釈迦如来が説かれた「浄土三部経」
『仏説無量寿経』『仏説観無量寿経』
『仏説阿弥陀経』
・宗祖　親鸞聖人が著述された主な聖教
『正信念仏偈』（『教行信証』行巻末の偈文）
『浄土和讃』『高僧和讃』『正像末和讃』
・中興の祖　蓮如上人のお手紙
『御文章』

教義　阿弥陀如来の本願力によって信心をめぐまれ、念仏を申す人生を歩み、この世の縁が尽きるとき浄土に生まれて仏となり、迷いの世に還って人々を教化する。

生活　親鸞聖人の教えにみちびかれて、阿弥陀如来の　み心を聞き、念仏を称えつつ、つねにわが身をふりかえり、慚愧と歓喜のうちに、現世祈祷などにたよることなく、御恩報謝の生活を送る。

宗門　この宗門は、親鸞聖人の教えを仰ぎ、念仏を申す人々の集う同朋教団であり、人々に阿弥陀如来の智慧と慈悲を伝える教団である。それによって、自他ともに心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する。